



俺の召喚獣は触手に
辱められ悶えて
喘ぐばかりで
使いものにならない

俺らは世界を旅してまわる冒険団。

行く先々で困っている人人を俺らの特殊能力を使って助けているのだが、今回は難しい案件。

海に巨大な蛸っぽい魔物が出現し、漁師の船や貿易船を襲って沈めているという。

「このままじゃあ村の経済が破綻する！」と泣きつかれるも、あいにく仲間は俺を除いて船酔いがひどい。

船での移動はなんとか耐えられるものの、戦闘は無理。

召喚士の俺は召喚獣がいないとほぼ戦闘力ゼロだし、今、契約してい

るやつらは海での戦闘に不向きだし。

ということとで海の戦闘に強そうな召喚獣を新たに呼びだした。

果たして、スポットライトのような光を浴びながら海からでてきたのは「我はポセイドン！」と高らかに名乗る男。

「神の名を受け継ぐ我にかかれば、どんな卑劣でおぞましい魔物もひとひねりよ！」

上半身は筋肉質な男前で、下半身は蛸のような触手が無数に。

人型でおしやべりなのが珍しいのはいいとして、やたらと快活で大口を叩くのに一抹の安。

まあ、一応、使える技を見せてもらい「これなら、いけるだろ」と判

断し、村の人に船をだしてもらつて魔物の出現ポイントに。

ご登場したなら、触手が届かなくていどの距離をとり、漁師を船室に避難させ、俺とポセイドンで対峙。

指示をだそうしたら「やあやあ我は同じ名の神と同等の偉大なる召喚獣、ポセイドン！」とに芝居の口上のようなものを長々と。